

キリスト者の貸借対照表

(マタイ6・25〜34)

一、キリスト者の収支決算

信仰生活を収支決算書で表したらどうなるでしょうか。例えば、礼拝に出席

借方		貸方	
目に見えない祝福 信仰の励まし	換算できず	礼拝出席(交通費、 献金、昼食代、時間)	0000円
目に見えない祝福	換算できず	十一献金(月約献金)	0000円
喜び	換算できず	奉仕	疲れ
合計	神がなさることを 信じる、感謝、 喜び、信仰	合計	0000円

します。そうしますと、交通費がかかります。席上献金がありますので、お金が減ります。お昼ご飯をみんなで食べれば、食事代がかかります。礼拝に出席するために、時間もかかれ、感染リスクも出てきます。それに対する実入りは、何なのでしょう。それは、目に見えない、霊的なものです。霊的とは、精神的な喜びよりも、もっと深いものです。「神に委ねたら良いのだ」と確信が与えられたり、あるいはもっと深く「私は生まれて来て良かったんだ」と確信したり、親のこを受け入れ、境遇のことも受け入れるようになったりします。そういうわけで、礼拝出席は教会生活、信仰生活にとって必要なことですから、ぜひ優先順位の上に持って来ることをお勧めいたします。

す。

次に「十一献金」ですが、教会によっては「月定献金」とか「月約献金」「初穂献金」と呼んだりします。私は「初穂献金」という文句が好きです。収穫の初穂から献げるといふ意味だからです。ですが、分かりやすさから言えば「十一献金」でしょうか。たとえ、十分の一に達していないとしても、十分の一を目標にすることができるところです。

二、十一献金と私たち

十一献金ということばが分かりやすい理由に、歴史的なものもあります。聖書の舞台となった地域では、昔から「十分の一」を献げるといふ文化がありました。例えば、アブラハムがいと高き神の祭司メルキゼデクによって祝福を受けるとメルキゼデクにすべての持ち物の十分の一を贈りました(創14・20)。あるいは、ヤコブが荒野で野宿した際、夢の中で幻を見て、アブラハム、イサクの神が自分の神でもあると知った際、「私は、すべてあなたが私に下さる物の十分の一を必ずあなたに献げます」(創28・22)と語っています。やがて、十分の一を【主】に献げることが、律法に明記されるようになりました。そういうわけで、古代イスラエルにとって十分の一は、今日の税金に近い性格のものでした。私たちは、十分の一の献げものをど

のように受け止めたら良いのでしょうか。まず言えることは、律法として受け止める必要はありませんし、そのように受け取ってはなりません。言い換えるなら、これを守らなければ祝福が無いと考えることです。マタイの福音書5章17節(新改訂)に「へわたしが来たのは律法や預言者を廃棄するためだと思ってはなりません。廃棄するためにではなく、成就するために来たのです。」とありますが、これが私共に当てはまると思っています。

三、心配するな

今回のテキストであるマタイの福音書6章25節をご覧ください。ですから、わたしはあなたがたに言います。何を食べようか何を飲もうかと、自分のいのちのことで心配したり、何を着ようかと、自分のからだのことで心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物以上のもの、からだは着る物以上のものではないませんか。とあります。前後関係より分かるのは、何を食べようか、何を飲もうか、何を着ようかと心配するのは、すなわちそのことにゆえに、神への思いがそがれてしまうのは、不信仰以外の何ものでもないことです。「神を信じないと、すなわち信頼できないとそうなる」という意味です。なぜなら26節に「空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納める

こともしません。それでも、あなたがたの天の父は養っていてくださいます。あなたがたはその鳥よりも、ずっと価値があるではありませんか。」とあるからです。

あるいは、28節より30節です。「なぜ着る物のことで心配するのですか。野の花がどうして育つのか、よく考えなさい。働きもせず、紡ぎもしません。しかし、わたしはあなたがたに言います。栄華を極めたソロモンさえ、この花の一つほどにも装っていませんでした。今日あっても明日は炉に投げ込まれる野の草さえ、神はこのように装ってくださるのなら、あなたがたには、もっと良くしてくだらないでしょうか。信仰の薄い人たちよ。」すなわち、これらのものに心が奪われてしまうなら、神を知らない異邦人と同じであると、主はおっしゃいました。32節です。「これらのものはすべて、異邦人が切に求めているものです。あなたがたにこれらのものすべてが必要であることは、あなたがたの天の父が知っておられます。」と。「服を買つな、新調するな、おいしいものを食べるな」と言われているのではなく、その手のことで心配するな、思い煩つな、と言われています。お金は貯め込もうとしないで、有効に使うこと、献金も、食事も、レジャーも入っているを受け止めてください。